

サービス



サービス

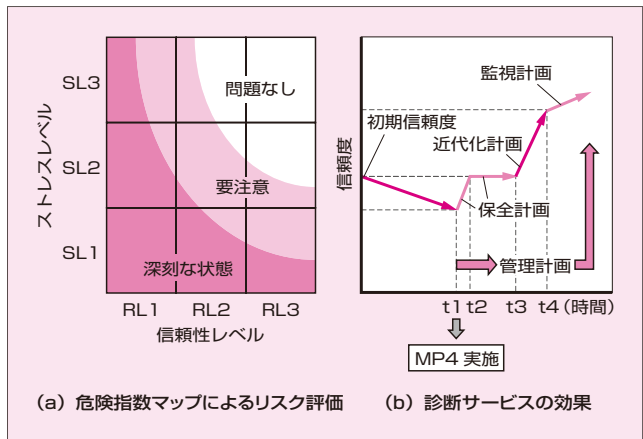
サービス

① 受変電設備総合診断サービス

受変電設備総合診断サービスは、富士電機の設備診断技術とシュナイダーエレクトリック社のコンサルティング手法“MP4”を融合し、受変電設備の信頼性・安定性の向上に貢献する提案サービスである。受変電設備の安定操業の妨げとなるリスクを分析し、そのリスクによる生産設備への影響を最小限化する。MP4のステップを次に示す。

- (1) 配電系統と生産設備を把握する。
- (2) 受変電設備と電気機器のストレスレベル・信頼性レベルを評価する。
- (3) 危険指数マップにより、運用管理を含む受変電システムの総合的な重要度を分析する。
- (4) 四つの推奨事項として、保全計画、近代化計画、監視計画および管理計画を提示する。

図1 リスク評価と診断サービスの効果



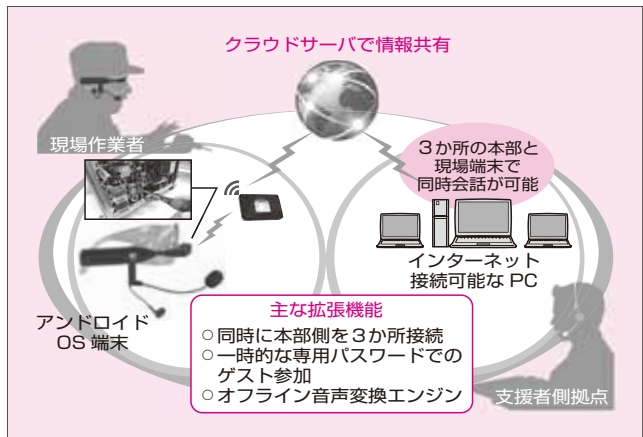
② ウェアラブル型遠隔作業支援パッケージ「FWOSP」の機能拡張

ウェアラブル型遠隔作業支援パッケージ「FWOSP」は、現場における作業の品質や効率の向上、および技術ノウハウの伝承や蓄積をサポートするクラウドサービスである。

作業者が保有するメガネ型ウェアラブル端末と、本部側のPCを音声と映像で双方向に接続し、指示・支援機能や、事前に登録した作業手順の指示や作業結果の音声登録などを行う作業支援機能を拡張した(2),(3)はオプション。

- (1) 現場と3か所の本部を同時に接続することにより、現場の作業者に対して、よりの確な作業支援が可能である。
- (2) 一時的な専用パスワードの発行により、セキュリティを強化しつつ、第三者からの指示や支援が可能である。
- (3) 作業結果の音声記録機能は、通信環境が悪い場合でも、オフラインの状態でも利用が可能である。

図2 「FWOSP」



サービス

③ 太陽光パネル診断サービス

改正された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」(FIT)が2017年4月1日から施行され、長期の安定的な発電を確保するために、保守点検と維持管理が審査基準に盛り込まれた。富士電機はこれに応えるため、遠隔監視・メンテナンスサービスをメニュー化して提供している。

太陽光発電設備における発電量の異常や太陽光パネルの劣化の監視には、さまざまな課題がある。富士電機は、太陽光パネルの性能変化を系統的に捉え、発電量の異常や太陽光パネルの劣化を検出する診断アルゴリズムを開発した。この診断アルゴリズムを用いた無線式ストリング計測システムをクラウド環境上に構築し、太陽光パネル診断サービスとして提供を開始した。

図3 計測システムの画面例と太陽光パネルの異常状態





*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。